

まちかどフォトニュース

おもしろいこと、珍しいもの、どんなことでもいいので耳よりな情報をお知らせください。
三好市 秘書広報課 ☎ 72-7646



災害に備え防災訓練を行いました

日頃から防災の意識を高めようと、6月23日、佐野小学校で佐野自主防災会の防災訓練が行われ、地域から約120人が参加しました。

この日は参加者が3班に分かれて、みよし広域連合池田消防署員の指導による、けがなどをした時の救助・応急処置の訓練や心肺蘇生法・AEDの使い方などの訓練、地元消防団によるポンプ車訓練実演や放水体験などが行われました。

参加者は、順番にそれぞれの訓練を受け、防災に関する知識をたくさん学びました。

新しい仕事スタイルを応援します

快適な仕事環境の選択肢として注目を集めているサテライトオフィスを知ってもらおうと、6月8日、県西部初のサテライトオフィスとなった三好ランド(旧政海旅館)においてイベントが開催されました。主催の株式会社あしたのチーム高橋社長と、全国各地で地域おこしのプロジェクトを応援している松本隆博さんによる対談や、パソコンを使って東京とのインターネットを通じたやり取りのデモンストレーションが行われました。「働く」ど家族の絆をテーマにした松本さんのトーク&ライブも行われ、会場は大変盛り上がりしました。



「妖怪屋敷・石の博物館」50万人突破

道の駅大歩危「妖怪屋敷・石の博物館」の来館者が6月23日、平成8年11月に石の博物館ラピス大歩危として開館以来、50万人に達しました。

50万人目の来館者となったのは高知県の田島康裕さん親子で、スタッフらが拍手で迎え、記念品の年間無料入場券や妖怪と石のグッズが贈られました。

4年目を迎えた妖怪屋敷では、妖怪をより身近に感じてもらえるよう新たな展示を企画しており、夏休み期間中には「妖怪屋敷夏まつり」(7月27日)、や「妖怪屋敷ナイトミュージアム」(8月3、10日)も開催されます。ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。

台風シーズンに備え 危険箇所をパトロール

6月の土砂災害防止月間に合わせ6月18日、市内で指摘されている危険箇所のパトロールが行われました。四国一広い面積の三好市では、土石流・地すべり・がけ崩れにより人家などに被害を及ぼす恐れのある、土砂災害危険箇所が県内の2167箇所もあります。

この日は県、警察、消防、市の職員ら約20人が参加し、山城町の白川谷砂防指定地、池田町船戸の急傾斜崩壊危険地の2か所のパトロールを実施しました。



願い事が叶いますように



6月26日、阿波池田駅前において、尾本保育園の子どもたちとその保護者らが短冊に願いを込め、七夕飾りを取り付けました。高さ5メートルほどの大きな竹2本に、願い事を書いた短冊や色紙などで作った飾りをつ一つつていねいに結び付け、「願い事が叶いますように」と大きな声で園児らは七夕様をお願いをしました。その後、駅の構内で園児の歌やダンスの発表もあり、七夕飾りとともに、駅を訪れた乗降客を楽しませました。

「人権の花」運動



人権擁護委員の活動として、今年度も市内6校の小学校に「人権の花」運動に取り組むための花の苗が贈られました。贈呈式では人権擁護委員より人権の花運動メッセージが読み上げられ、花の苗と共に児童に手渡されました。

各学校で花の苗を児童らが協力し合いながら育てることによって、命の大切さや相手への思いやり、相手の立場を考えるとこのような基本的な人権の尊重の精神など多くのことを学んでほしいと思います。

元気よく体操の演技を披露



三好郡・市小学校体操発表会が6月4日に池田総合体育館において開催され、22校478人の児童が参加しました。

子どもたちは、友達とはげまし、競いあいながら毎日積み重ねてきた練習の成果を力いっぱい発揮し、大きな会場にも負けない堂々とした素晴らしい演技で鉄棒や跳び箱、マット運動を披露しました。会場には、保護者の皆さんや多くの方が応援にかけつけ、頑張る児童らに大きな拍手を送っていました。



三好市の旬を全国へ発送しました

三好市の春の味覚をお届けするふるさと小包の発送作業が、6月20日に市分庁舎で行われました。新茶、干しぜんまい、手作りこんにやく、みそなど特産品8品目を丁寧に箱詰めし、全国の三好市ファンの方や市出身の方などへ発送されました。また今回、三好市をよりPRしようと北島三郎さんが歌う吉野川イメージソングの音楽CDも同封されました。同会では、秋と年末にもふるさと小包の発送を予定しています。お問い合わせ先▽三好やまびこふるさと会(☎72-7645)